



第3回 学校運営協議会開催

10月28日(月)、第3回 学校運営協議会が小針中学校コミ室で行われました。会議前に、5限の授業を参観していただきました。協議した内容は下記の通りです。

今回の協議内容

- ・小針中CSアクションプランの実施に向けて



【ねらい】

- (1) 小針中CSアクションプランの取組を家庭や地域で実現するための進め方を話し合う。
- (2) 話し合い後、決定した方法に沿って、それぞれの立場で活動を始める。

- 4つの小学校区グループ(小針・青山・東青山・立佷)に分かれて、実現できそうな取組を、「具体的な取組内容の例」から最低1つ選び、実現までの道筋を考えました。

青山グループ



東青山グループ



- CS委員は各グループの代表者から取組説明を聞き、意見交流をしました。

小針グループ



立佷グループ



取り組んでみたい内容

- ・青山グループ 学校・授業と地域行事の活動を結びつける工夫(参加生徒が感想を発表する)
- ・東青山グループ 小・中学校のつながり作りが大切(地域のお祭りに中学生が参加する)
- ・小針グループ 地域と一緒に防災教室(企画に中学生の声を活かす)
- ・立佷グループ あいさつの活性化(小・中・コミ協みんなであいさつ)



実際に家庭や地域では、どんなことに
取り組めるのかな？

★第2回学校運営協議会において、委員の方に「家庭の取組」と「地域の取組」について、具体的な行動内容を考えてもらい、まとめたものが下の表です。

具体的な取組内容の例(できる人や地域が、できることを、できるときに)

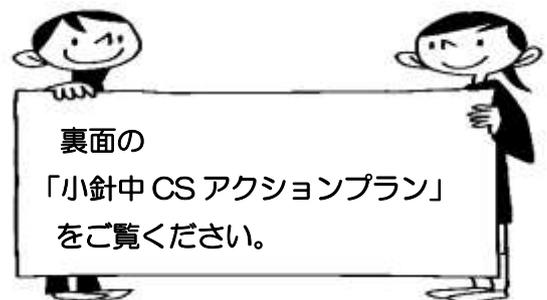
家庭の取組	<p>子どもが主体的に学習に取り組める環境をつくる。</p>	<p>家庭内で話し合い、ゲームやネット、SNSの使用についてのルールを決める。</p>	<p>子供が約束を守って行動できるようにする。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が興味をもっている分野に関する機会(本、教材、体験活動など)を提供する。 ・ 本や新聞、ニュースなどの話題を家庭で共有する。 ・ 子供が自分で選択、決定する場をつくる。 ・ 小さな成功や努力を誉める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供主導でルールや守れなかったときの対応を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭内での子供の役割(お手伝い)をつくる。 
地域の取組	<p>「総合的な学習の時間」の取組を支援する。</p>	<p>地域の行事等で子供が主体的に係わる工夫をする。</p>	<p>地域の子供たちへ挨拶をする。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間の内容に応じて、地域の人材を学校に紹介する。 ・ 地域内の店や事業所が学校に協力できることについて、情報を集める。 ・ 学習の場として自治会館を開放する。 ・ 地域クラブを立ち上げる。 ・ 地域で防災訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事に、子供が参加できる内容を盛り込む。 ・ 地域行事の多様化(ゲーム大会、ダンス大会など)を目指す。 ・ 地域行事の企画に参加してもらう機会を設定する。 ・ 長期休業中に、小学生への学習支援をしてもらう場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子供たちに積極的に声をかける。 ・ コミ協や育成協で地域のあいさつ運動を行う。 ・ 地域のボランティア活動のPRに力を入れる。 

〈教育目標〉

創造し 協調する たくましい生徒

〈3つの喜び〉

- できることが増えていく喜び (創造)
- 友達をつくる喜び (協調)
- 自分には価値があると思える喜び (たくましさ)



裏面の
「小針中CSアクションプラン」
をご覧ください。

小針中CSアクションプラン

目指す生徒像	創造し 協調する たくましい生徒			
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 3つの「喜び」をつくる </div>			
	自治力・自己決定力			
付けたい力	(1) 課題の解決に向けて、必要な情報を能動的に収集・選択・活用し、よりよい判断と実行ができる力 → <u>できることが増えていく「喜び」</u> を感じる力	(2) 自分たちで話し合い、折り合いを図った上で、解決に向けて協働する力 → <u>友だちをつくる「喜び」</u> を感じる力	(3) 各活動の成果や課題を共有し、さらなる向上を目指して挑戦するたくましさや強い気持ち → <u>自分には価値があると思える「喜び」</u> を感じる力	
	喜びがつながる学校を築く			
学校の取組	1. 生徒が主体的に取り組み、表現する授業を実践する。 2. 資質・能力を明確にした系統性・連続性のある「総合的な学習の時間」を推進する。 3. ねらいの実現に正対した行事や各種活動を精選する。	1. 生徒同士が対話、議論する場を設定する。 2. 社会性の育成を目指した生徒指導を推進する。	1. 自分自身の力で確実に自分の命を守ることができる防災教育を推進する。 2. 地域のひと・こととかかわる活動を展開する。	
家庭の取組	・子供が主体的に学習に取り組める環境をつくる。	・家庭内で話し合い、ゲームやネット、SNSの使用についてのルールを決める。	・子供が約束を守って行動できるようにする。	
地域の取組	・「総合的な学習の時間」の取組を支援する。	・地域の行事等で子供が主体的に係わる工夫をする。	・地域の子供たちへあいさつをする。	
評価	生徒	<アンケート> ◎項目:友達との関り合いを通して、よりよい考えや行動を求めて自分で判断したり決定したりしている。 ◎指標: 中学3年調査時に肯定的評価 90%以上	<全国学力・学習状況調査> ◎項目:あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。 ◎指標: 中学3年調査時に肯定的評価 90%以上	<アンケート> ◎項目:苦しいことでも逃げずにチャレンジするようにしています。 ◎指標: 中学3年調査時に肯定的評価 90%以上
	学校			
	家庭	上記の項目について、年度末に取組状況に関するアンケート調査を行う。		
	地域			